



2025年4月

泉屋博古館がリニューアルオープンします

住友家 15 代当主・春翠が収集した中国古代青銅器が核となる「住友コレクション」。

泉屋博古館（京都・本館）は、1 年の改修工事をへて、2025年4月26日にリニューアルオープンいたします。

京都東山の地にたたずむ 1 号館は、1970年の大阪万博開催の折、住友グループの迎賓館として国内外の賓客をもてなすために建設されました。完成から五十余年が経過し、京都府下でも指折りのモダニズム建築として高い評価を受けつつも、設備の老朽化や過去の弥縫的なバリアフリー施策の問題をかかえてきました。この度の改修は現代の美術館に求められる機能を備え、失われた意匠をとりもどし、この建築をあるべき姿で後世へ伝えてゆくために行われました。展示室のリノベーションや増設、設備の刷新で心地よい鑑賞空間を実現し、収蔵庫を増設して文化財保存につとめます。また建物意匠の原点回帰、新しいバリアフリー設備や衛生空間の整備を行い、ホスピタリティとサステナビリティに富む美術館へ生まれ変わります。

緑豊かな東山の魅力はそのままに、多くの皆さまの安らぎの空間となれるよう、活動してまいります。

変わらないために変える－改修のポイント

① 展示室はより広く、より美しく



これまでの企画展示は2号館の一室のみで行われていましたが、さらにその隣にもう一部屋、展示室を増設しました。展示面積、部屋数、展示室の回遊性がボリュームアップしたことで、展示空間のドラマが向上します。いずれの展示室も照明機器を一新し、調光や色調整が自由になりました。

2号館展示室（改装）

既存の展示室は内装をリノベーション。

白い壁を基調とするシンプルな佇まいに、壁ケースに沿った木製の手がかりが温かみを添えます。

2号館新展示室（新設）

最新鋭の高透過ガラスケースを設置、隣室と対照的な黒を基調とした空間で、作品鑑賞に没入いただけます。

大きな掛け軸も展示可能、鑑賞空間が広がりました。

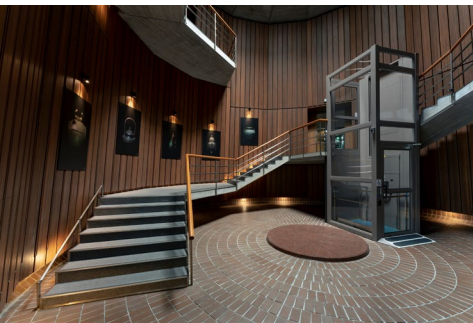


青銅器館展示室（改装）

第1室と第4室には最新の展示ケースを導入し、中国古代青銅器の名品の魅力を余すところなくご覧いただけます。

また原点回帰とするため、第2室と第3室には創建当初からの歴史的なケースを敢えて存続させました。

② 青銅器館本来の建築意匠へ原点回帰



リフト撤去前

1号館ホール（改修）

青銅器館のある1号館の中央ホールには、平成のバリアフリー工事で車いす用のリフトが設置されました。この度の工事ではリフトを移設、迎賓施設の象徴空間であったホールの機能が帰ってきました。

螺旋階段と天窗から差し込む光が織りなす、本来の魅力を感じてください。

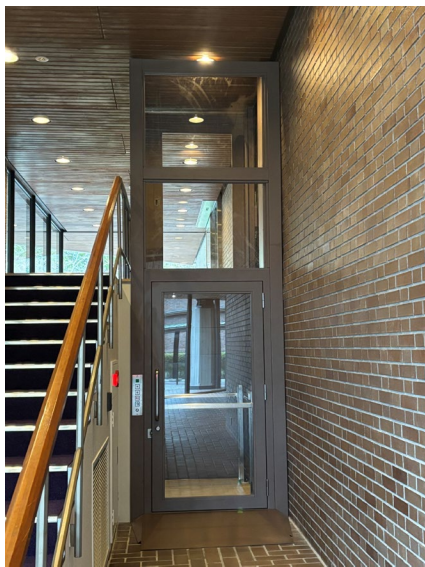


眺めのいい部屋（新設）

青銅器館第1室からつづくガラス張りの部屋は、創建当初からあったもの。

この度、新たなバリアフリー導線として活用するため、公開することとなりました。

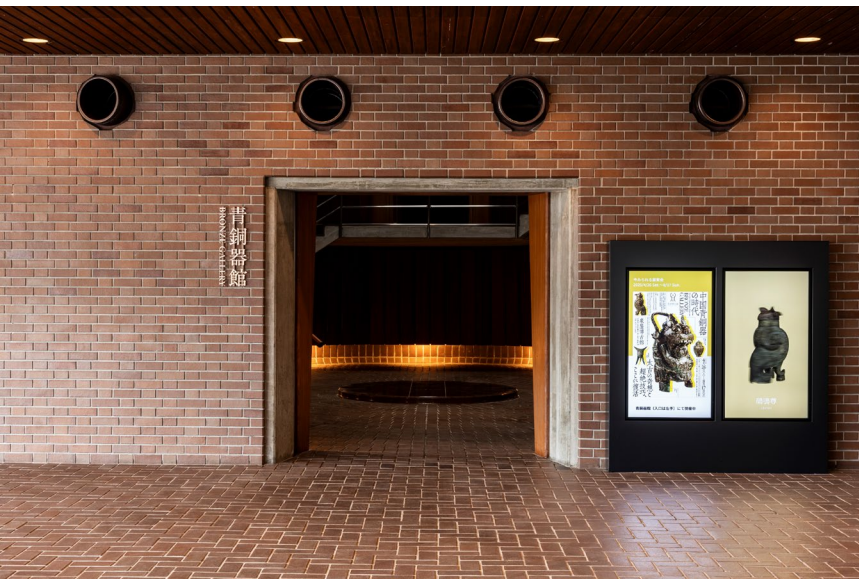
春には新緑を、秋には中庭の紅葉を、寒い季節には泉屋博古の庭の眺めをお楽しみください。



新しいリフト



③ 美術館の新たな「顔」 – レンガ空間の魅力を活分に



青銅器館入口

エントランス（新設）

大きなインフォメーションカウンターを新設、お客様を迎える新たな美術館の「顔」として活躍します。

荷物のお預かりも可能、壁側にあった車いす用の段差解消機は左側へ移設しサインージュを新設。

館内各所のサインージュが情報を発信します。

④ 収蔵庫の増設

専用駐車場や最新のセキュリティを備えた収蔵庫を新設しました。

風致地区である周囲の家並みに溶け込むよう、環境にも配慮された建物は京都・東山の美術館ならではの佇まいです。

⑤ ユーザビリティの向上 – 新たなバリアフリー、多目的トイレの設置、授乳室の新設

バリアフリー通路（新設）

鹿ヶ谷通からの入口は雰囲気の良い石畳でしたが、より安全を確保するため、段差のないフラットな通路に改修しました。丸太町通の正門では車と歩行者が交差することのないよう、歩道を設けました。



改修前の石畳



鹿ヶ谷通からの歩道



正門からの歩道



正門からの歩道（夜景）

多目的トイレ、授乳室（新設）

より多くのかたに安心してご来館いただけるよう、多目的トイレや授乳室を新設しました。

⑥ ミュージアムショップの開設 -オリジナルグッズぞくぞく。



ミュージアムショップ（新設）

改修前はインフォメーションでチケットやグッズも販売していましたが、念願のミュージアムショップが誕生しました。オリジナルグッズが続々登場、ご注目ください。

《ミュージアムグッズのご紹介》

*オリジナル新作グッズが続々登場！（写真はイメージです）



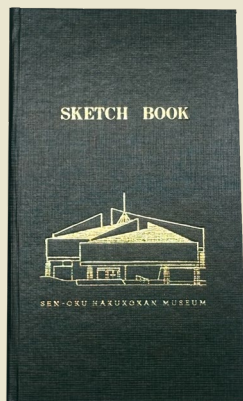
魔物から守ってくれる？！

饗饗アイマスク



両脇ポケットにペットボトルや折りたたみ傘も入る！

虎貞トートバッグ



モダニズム建築の優品
「泉屋博古館1号館」デザイン

測量野帳



なんて書いてあるの？

答えは展示室で

金文エコバッグ



本物は8メートル越え！
ミニサイズをお手許で。

**呉春筆《蔬菜図巻》
縮小巻子**

ブロンズギャラリー

中国青銅器の時代

2025年4月26日（土）⇒8月17日（日）、9月27日（土）⇒12月14日（日）

リニューアル記念名品展Ⅰ

帰ってきた泉屋博古館 いにしへの至宝たち

2025年4月26日（土）⇒6月8日（日）

リニューアル記念名品展Ⅱ

続・帰ってきた泉屋博古館 近代の美術、もうひとつの在り方

2025年6月21日（土）⇒8月3日（日）

会場 泉屋博古館

住所 606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24

時間 10:00 - 17:00（入館は16:30まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）、展示替え期間中、夏期・冬期

観覧料 一般 企画展 1,000円（800円）・特別展 1,200円（1,000円）

学生 企画展 600円（500円）・特別展 800円（700円）

18歳以下無料

◆2025年6月10日（火） - 6月20日（金）、8月5日（火） - 8月17日（日）は

ブロンズギャラリーのみ開館、一般600円（500円）学生400円（300円）でご覧になれます

* 学生ならびに18歳以下の方は証明書のご呈示が必要です

* 20名様以上は（ ）内の団体料金

* 障がい者手帳等ご呈示のかたはご本人および同伴者一名まで無料

* 展覧会により料金に変更になることがあります

TEL 075-771-6411（代表）

URL <https://sen-oku.or.jp/kyoto/>

SNS <https://x.com/SenOkuKyoto>

<https://www.facebook.com/SenOkuHakukoKan>

<https://www.instagram.com/senokuhakukokanmuseum>

交通案内

■地下鉄

* 東西線「蹴上」駅から徒歩約20分

* 烏丸線「丸太町」駅1番出口から京都市バス93・204系統

■京都市バス

5・93・203・204系統「東天王町」下車、東へ徒歩200メートル
32系統「宮ノ前町」下車すぐ

* JR・新幹線・近鉄電車「京都」駅から5系統

* 阪急電車「烏丸」駅24番出口から32系統203系統

* 京阪電車「三条」駅8番出口から5系統

《お問い合わせ先》※本リリースの画像はすべてお貸し出し可能です。

泉屋博古館 広報担当：坂井さおり

TEL: 075-771-6411 FAX: 075-771-6099 E-mail: pr-kyoto@sen-oku.or.jp